

内科 小児科 漢方 産科 婦人科 浮田医院 だより



第 85 号
医療法人 せゐらぎ会
発行所：浮田医院
〒520-1214 滋賀県高島市安曇川町末広3丁目28
TEL 0740-32-3751
FAX 0740-32-3795
ホームページ: <http://www.ukita.gr.jp>
e-mail: kanpou@ukita.gr.jp
発行日：2009年11月5日(木)
発行者：浮田 徹也



めつきり寒くなってきました。周りの木々は色づき、私達の目を楽ませてくれます。

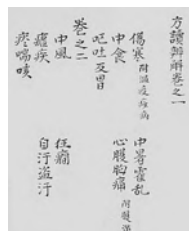
今年、八月末より、新型インフルエンザのニュースで持ち切りです。もう季節型インフルエンザワクチン接種は終わりましたか？新型インフルエンザワクチン接種が始まっています。休養、手洗い、うがいの励行、部屋の加湿が不可欠です。また、咳、発熱、鼻水の方に出会ったりした場合、すぐに手洗いとうがいをして下さい。皆でこの地域をインフルエンザから守る努力をしましょう。十一月一日(日曜日)、大津ピアザ淡海で、日本東洋医学関西支部総会を主催しました。多くの医師、製薬会社、業者の協力で無事に終了しました。特に、浮田医院の事務長、医師となった子供達が大きな支えとなりました。「漢方診療を学ぶ医師育成」のた

漢方薬のよさ(85) 妊娠中の浮腫II



神宮寺 (小浜 福井県)

めの総会を目指しました。四診という「漢方的診察方法」を習得すると共に、西洋医学的診断技術(超音波検査、MRI、CT、内視鏡、血液検査など)を取り入れ、正確に「東洋医学的証」と「西洋医学的診断」をし、また、「方剤の薬理作用、適応症」を知り、「方剤



の生薬の組立て」を知り、「その時代に生産される生薬の薬能」を理解して、「処方範囲、治療範囲」を広め、「最新の技術」を用いて、「治癒判定を正確」にするということが大切だと言うことを訴えました。

妊娠中の浮腫のお話です。せせらぎ五十九号の続きです。妊娠中の血圧上昇(収縮期血圧一四〇以上、拡張期血圧九〇以上)は妊娠高血圧症候群と呼ばれ嚴重な管理が必要になります。胎盤機能低下、肺水腫、脳出血、常位胎盤早期剥離(はがれ)およびHELLP症候群、子癇などの合併症が発症しないように予防が大切です。前ぶれなく突然起こることもあります。浮腫(手足、顔など)、食欲亢進、食欲不振(時にむかつき)、頭痛などに引き続いて発症することがあります。特に、むくみは重要な症状です。糖分、塩分の摂取を控え、十分な休養(必要ならば昼寝)をとることが大切です。体重増加が指示された以上の時は特に注意してください。

実例に移ります。

三十二歳女性、**妊娠中の浮腫**、





妊娠二十八週、手と足にむくみ、体重増加八kg、便秘。食欲良好、口渇、血圧二〇〇／八〇。顔色良好、脈は浮数滑、舌は淡紅色、乾白薄苔。胸脇苦満（一）、胃内停水（一）。そこで、五苓散（一）処方。糖分、塩分制限。十分な休養を指示。その後、尿量増加、むくみ減少。ほぼ予定日に三二〇〇gの女児を分娩。五十二歳女性、冷え性、腰痛、夜尿（二）三回、便秘（残便感）。顔色良好、脈沈細、舌淡紅色、乾無苔、舌下静脈軽度怒脹。上腹部は弾力性中程度、下腹部は軟弱、胸脇苦満（一）、胃内停水（一）、臍上下悸（十）。そこで、八味地黄丸一日十分修治附子末一ムラ処方。二ヶ月後、症状消失。二年間服用後廃薬。

五十九歳女性、骨粗鬆症、腰痛、疲労感、便秘（二〜四日に一回）。顔色は普通、腹部は軟らかく、胸脇苦満、心下痞硬、臍下不仁、脈は弱、沈、遅、舌は、淡紅白色、薄白苔。骨量六〇％（骨量がYA Mの七〇％未満が骨粗鬆症）そこで、補中益気湯二包十八味地黄丸二包＋紅参二ムラを処方。一年後骨量六〇％、腰痛、疲労感など消失。二



[院長]

年後骨量六十一％、三年後骨量六十一％。現在継続中。

十五歳男性、インフルエンザA型、一六六cm、五七kg、発熱（三十九℃）、鼻水、咳、咽頭痛、関節痛、食欲低下。顔は両ほほ紅潮、腹は軟らかい、右胸脇苦満、心下痞硬、脈は浮弦数。舌は淡紅色、乾白苔。そこで、小柴胡湯加桔梗石膏三包＋麻黄湯三包（分三、朝昼夕食後）三日分処方。三日後解熱。

二歳女性、インフルエンザA型、発熱（三十九℃）、鼻水、咳、食欲不変。顔は両ほほ紅潮、腹は軟らかい、脈は浮緊数。舌は淡紅色、乾無苔。そこで、麻黄湯1.5包（分三、朝昼夕食後）二日分処方。三日後解熱。

次回は、赤ちゃんと漢方1です。



冷 え 症

手・足・背・腰など体の一部の冷え、冷えのぼせ（足は冷え、顔はのぼせる）、全身の冷えなどがあり、漢方医学では、瘀血（循環不全）、気虚（気力低下）、水毒（体液の偏在）、血虚（血液不足）、脾虚（胃腸虚弱）、陰証（新陳代謝の低下）、気逆（気の上昇）などが原因と考えています。血液検査なども参考にして四診（問診、視診、触診、聞診）を基に、漢方薬を処方します。



骨 粗 鬆 症

骨量は、成長期のカルシウムや蛋白の摂り方（子供の頃の牛乳）、運動の仕方が影響します（小学校～高校の時期）。女性の骨量は閉経以後急速に減少、男性は、50歳を過ぎるころから徐々に減少します。当院は、定期的に骨量を測定し、漢方薬や西洋薬を利用しながら、食事指導も取り入れています。



インフルエンザ

突然の悪寒、高熱、咳、四肢痛等の症状で始まります。当院では、迅速診断キットを用いて診断し、抗インフルエンザウイルス薬、漢方薬、解熱薬などを用いて治療します。また、予防のためワクチン接種（季節型、新型）も実施しています。



当院の漢方治療



剤型

- ・エキス漢方薬：錠剤**タイプ**の漢方薬と顆粒**タイプ**の漢方薬があります。
- ・漢方煎じ薬：良質の生薬を組み合わせた漢方薬。40～60分煮て作ります。
当院の顆粒**タイプ**の漢方薬は、胃になじみやすい反面、湿気に弱いので、乾燥剤の入った容器に入れ、しっかりと蓋をして下さい。それでも固まる場合、冷蔵庫(冷凍庫)で保管して下さい。
漢方薬が固まりやすい場合、当院の漢方薬専用容器(無料)をご利用下さい。

適応症

- 便秘、頭痛、肩こり、腰痛、食欲不振、疲れ、冷え、むくみ、痛み、痺れ、動悸、めまい、ほてり、発熱、かゆみ、排尿障害・・・などすべての症状。
- ・漢方薬のよく効く疾患
アトピー性皮膚炎、更年期障害、便秘、腰痛、肩こり、子宮内膜症、子宮筋腫、生理痛、冷え性、不妊症、低血圧、めまい、頭痛、動悸、過敏性大腸、慢性疲労、風邪、肥満、夏ばて、慢性肝炎、肝硬変、慢性胃炎、慢性膀胱炎、慢性胆嚢炎、胆石、胃十二指腸潰瘍、痛風、慢性膀胱炎、血尿、前立腺肥大、蕁麻疹、接触性皮膚炎、にきび、慢性中耳炎、慢性扁桃腺炎、慢性副鼻腔炎、口内炎、口腔乾燥、虚弱児、切迫流産、妊娠中毒症、産後回復不全、乳腺炎、乳汁分泌不全、乳腺症、上下肢浮腫、膝関節症、神経痛、帯状疱疹後神経痛、下肢静脈瘤、クーラー病・・・
- ・漢方薬と西洋薬を併用することの多い疾患
高血圧、高脂血症、高コレステロール血症、アレルギー性鼻炎、不眠症、自律神経失調症、うつ病、骨粗鬆症、糖尿病、慢性関節リウマチ、痔、肝硬変、喘息、腎炎、甲状腺疾患、夜尿症、脳梗塞後遺症、脳出血後遺症、抗癌剤使用後倦怠感、抗癌剤使用時副作用・・・

エキス漢方薬と漢方煎じ薬

- ・軽症 ・ 中程度の病氣：漢方製剤(顆粒あるいは錠剤)を組み合わせで治療。
- ・重症の病氣、エキス剤が無効：漢方煎じ薬で治療。

女性の方、男性の方、お子様、高齢の方、ご相談下さい。

問診、望診(舌診)、聞診、切診(腹診と脈診)の東洋医学的診察法(四診)や検査(超音波、血液、便、尿、痰、膣分泌物、心電図、骨量測定・・・)などを利用して、漢方薬を決めます。

骨量測定(4～6ヶ月ごと)

1分で測定(極少量のX線吸収を利用)。結果は、直ぐにお渡しします。骨破壊度の検査(尿)も実施しています。

予約ー漢方外来

土曜日の午後、予約・漢方外来があります(予約制、2回/月)。
午後2時～2時20分、2時20分～2時40分、2時40分～3時
3時～3時20分、3時20分～3時40分、3時40分～4時。
日程は掲示板やホームページでご確認ください。(電話予約可)

アトピー軟膏 健康食品

漢方薬(生薬)のみで作られた軟膏です。

- ・紫雲膏 ・ 太乙膏 ・ アガリクス
- ・メシマコブ・靈芝 ・ AHC C ・ サメ軟膏

漢方入浴剤

- ・美芳湯：冷え症、湿疹、あせも、にきび・・・
- ・昇竜湯：腰痛、肩こり、神経痛、疲労回復・・・
- ・アトピーの方の漢方入浴剤もお作りします。

健康保険証の確認

保険証は毎月確認することになっています。保険が使えなくなると困りますから、保険証の変更は、早急に受付に連絡して下さい。

在宅療養の支援とは

患者さんあるいはその家族の人と相談のうえ、その家族を訪問し、計画的に診療と治療を行います。
往診と違い、定期的に(月に2～12回)訪問診療を行い、患者さんの健康を管理します。
在宅療養の支援についてお気軽にご相談下さい。

スーパーライザー(神経照射)

赤い温かい光(近赤外線)で血行をよくし、腰痛、肩こり、五十肩、膝の痛み、ムチウチ、捻挫、アトピー性皮膚炎、花粉症、ストレス・・・などの治療に利用しています。

皮内針、針管付き鍼

皮内針の長さは1～2mm、針管付き鍼の長さは30mm、いずれの鍼も刺す時の痛みはありません。肩こり、膝関節痛、腰痛、足の痛、筋肉痛、頭痛・・・の治療に適しています。

処置診(処置、検査、点滴、鍼、スーパーライザー)

診察券を入れ受診者名簿に、氏名を書き、処置の欄にチェックして下さい。

外 来 診 療 時 間

| | 月 | 火 | 水 | 木 | 金 | 土 | 日 |
|---------------|------------------|------------------|------------------|------------------|------------------|------------------|---|
| 午前9:00～正午 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | — |
| 正午～午後0時30分 | — | — | 産後健診(予約可) | — | 産後健診(予約可) | — | — |
| 午後2:00～午後3:30 | 母乳相談(予約) (有料) | 母乳相談(予約) (有料) | 母乳相談(予約) (有料) | 母乳相談(予約) (有料) | 母乳相談(予約) (有料) | 予約-漢方外来 (月2回) | — |
| 午後2:00～午後4:00 | 在宅訪問診療 | (手術) | 在宅訪問診療 | (手術) | 在宅訪問診療 | — | — |
| 午後5:30～午後7:30 | ○ | — | ○ | — | ○ | — | — |

- ◇漢方外来 (月～土): 内科、小児科、皮膚科、産婦人科、整形外科、耳鼻科、眼科など全科の漢方薬による治療。
- ◇予約-漢方外来(2回/月 土曜日): 午後2時～2時20分、2時20分～2時40分、2時40分～3時、3時～3時20分、3時20分～3時40分、3時40分～4時 電話予約可(日程はホームページ、掲示板参照)
- ◇更年期外来(月～土): 更年期の方、思春期の方(女性、男性 どなたでもお越し下さい)
- ◇不妊 外来(月～土): 赤ちゃんの欲しい方 (ご夫婦でもお越しになれます)
- ◇妊婦 外来(月～土): 妊婦健診、妊娠中の方
- ◇産後 健診(水、金曜日)(有料): 正午～午後0時30分 電話予約可 赤ちゃん健診(1ヶ月、2ヶ月、3ヶ月) 産後健診
- ◇母乳 相談(月～金曜日)(有料): 午後2時～2時30分、2時30分～3時、3時～3時30分 乳房マッサージ 電話予約可

前期と中期-母親教室

日時: 平成22年1月9日、2月6日の各土曜日

対象: 妊娠7ヶ月までの方(定員7名位)(無料)

場所: 当院別棟 多目的ルーム 申込方法: 申込ノートでご予約をお願いします。*ご主人様もお気軽にご参加下さい。立会い分娩ご希望の方は 特にご参加をお勧めします。(申し込みノートにお名前を記入をお願いします)

後期-母親教室

日時: 平成21年12月16日(水)、26日(土)
平成22年1月13日(水)、23日(土)

対象: 妊娠8～10ヶ月までの方(定員7名位)(無料)

母親教室のお知らせ

母親教室では、“母と子のてびき”にそって、お話をすすめています。参加時には母子手帳とともに、忘れずにお持ち下さい。“母と子のてびき”は、分娩予約時に受付でお渡ししています。

ご主人と一緒に参加される場合は、必ず申し込みノートに予約の記入をお願いいたします。



福井楓亭(1725～1792)

京都に生まれ、菅隆伯に医学を学び、野間玄琢、小野蘭山、百々漢陰、荻野元凱らの医家と同様東下りし、寛政2年(1790)より医学館の前身である躰書館で2年間『靈枢』を教えた。また、表派に属し、「疝気八味方」「瘰癧方」などの処方を作成した。著書は、『方読并解』『集驗良方』『瀕湖脈解』『病因考』『証治并義』など多数ある。



分娩予約

妊娠30週までにに受付で予約して下さい。ご予約には、**分娩予約カードと予約金10万円**が必要です。予約された方には、**母と子のてびき**をお渡しします。

インフルエンザワクチン接種(季節型、新型)

季節型インフルエンザワクチンと新型インフルエンザワクチンの接種を実施しています。それぞれのワクチン入荷は限られています。詳しいことは受付でお尋ねください。

産後相談 母乳相談(助産師)

産後相談と母乳相談(有料)(乳房マッサージ)をしています。午後2時～2時30分、2時30分～3時、3時～3時30分。日程は掲示板やホームページで確かめください。(電話予約可)

パソコンホームページ(<http://www.ukita.gr.jp>)

トップページ(お知らせの欄、診療日程カレンダー)
産婦人科のページ(入院、食事、各種教室、指導)
漢方治療のページ(外来、漢方治療の範囲)
老人医療のページ(在宅療養の支援)
健康のページ(健診、プライマルチェック、予防接種)
当院の施設案内、当院への交通(車、JR)

正常分娩の入院日数

正常分娩の場合入院日を含めて入院期間は6日間です。初産婦の方、経産婦の方も同じ入院日数です。分娩希望の方はすべて受け付けています。

里帰り出産を予定されている方へ

当院は里帰り出産を受け付けています。妊娠24週ころ(母体と赤ちゃんの状態をチェックします)に1度診察においでください。当院での妊婦健診は妊娠34週から受けてください

赤ちゃん健診

産後健診と1ヶ月、2ヶ月、3ヶ月健診をしています。日時: 毎週水、金曜日 正午～午後0時30分(有料)

入院食(手作り)

心のこもった手作り料理です。素材、味付け、メニュー……など、絶えず工夫し研究しています。

産科医療補償制度

分娩により重度の脳性麻痺となった児及びその家族の経済的負担を補償し、原因分析と再発防止策を講ずるための制度。当院でお産される方に、10月より登録証を発行する予定です。(妊娠5ヶ月ころ)。詳細は受付でお聞きください。